

# 平成 25 年度 園芸特産業関係功労者表彰 受賞者功績概要

(敬称略)

あ べ い ち た ろ う

## 阿 部 一 太 郎 (南佐久郡佐久穂町)

昭和 27 年就農後、30 年代から菊栽培を開始、43 年からは当時地域では珍しかったカーネーションの施設栽培に取り組み、地域の生産拡大に努めるとともに、一本ずつ選花する共同選花を提唱。それまで生産者が個別に行っていた選花・箱詰を一か所で行うことで、品質・規格を安定させ市場評価を高めた。

その後、佐久町農協カーネーション部会長として、多条定植による坪当り本数の向上やスプリンクラー灌水など、新技術の導入に積極的に取り組んだ。

平成 20 年には後継者に経営委譲し、平成 22 年からは町が実施する「匠の技伝承事業」の匠として、数十年かけて習得した技術を広く町内の生産者に伝え、産地全体の栽培技術の向上に貢献した。

た け う ち く に ひ こ

## 竹 内 邦 彦 (東御市)

昭和 33 年、就農と同時に巨峰を導入し、昭和 35 年には、いち早くスピードスプレイヤーを導入。その後の共同防除への道筋をつけた。これにより品質向上と面積拡大が図れ、巨峰栽培の収益向上に繋がった。

昭和 47 年からは、高標高地での高品質・安定生産を目指して雨よけ栽培の技術確立に取り組むなど、旧東部町の巨峰の産地化に取り組んだ。

また、地域の後継者不足対策として、町外から後継者を求める事業を行政に提案するとともに、自ら研修生を積極的に受け入れ、現在までに 6 人の後継者を育て、ブドウ産地の維持発展に貢献した。

た な か り い ち

## 田 中 理 一 (伊那市)

昭和 43 年、就農と同時にカーネーション栽培を開始。昭和 51 年、米国視察で当時国内ではあまり使われていなかった S T S (鮮度保持剤) の事例を調査し、帰国後所属していた「南信ハウスカーネーション組合」に提案。国内メーカーと研究を重ね、国内でも早い段階での S T S 処理をした切花の出荷につなげた。

補完品目として取り組んでいたオリエンタルハイブリットユリについては、植物検疫をクリアしての種苗輸入を実現した。

また、「上伊那花卉生産者会議」では、世代交代が進む中、文化交流会事業を開始し、担い手の定着に大きく貢献するなど、伊那谷の花き産地の先駆者の一人として、発展の基礎を築いた。

もちづき りく  
望 月 陸 （安曇野市）

昭和 60 年に穂高町天蚕振興会（現安曇野市天蚕振興会）へ加入し、長年<sup>てばた</sup>手機による機織りに従事。

天蚕糸は、繊維が太く扁平で伸びやすいなど扱いづらい糸であるが、長年の経験から、<sup>たていと</sup>経糸の天蚕糸の強度を上げて織りあげることにより、これまで難しいとされてきた家蚕糸を全く使用しないオール天蚕での機織りに成功。オール天蚕の反物は、独特の光沢や風合いとその希少性から高値で取引されており、安定した需要が見込まれることから、原料となる天蚕繭の飼育者にも貢献している。

また、天蚕センターにおいては来場者への説明や機織り作業の公開とともに、後進を指導するなど、天蚕の振興に尽力した。

なかそね けん  
中 曾 根 健 （千曲市）

平成 2 年の就農以来、トルコギキョウの育種に取り組み、市場評価の高いフリンジ系の品種を多く作出し、コサージュ系品種として県内外の生産者に提供するなど、トルコギキョウの振興に大きく貢献した。

コサージュ系品種は、大輪のバラのように大きく、また通常品種の 2 倍以上日持ちするなど、今までのトルコギキョウのイメージを一新するもので、現在 50 品種が栽培されている。栽培する生産者で「コサージュ会」を組織し主宰。県内会員は 45 名で生産量は年間 200 万本を数える。（全国では約 120 名、600 万本）

また作出品種が多く、賞を受賞しており、中でも平成 24 年にオランダで開催された「フロリアード 2012」では、コサージュシリーズの品種が多数入賞した。

なかのしのうきょうえのきだけぶかい  
中野市農協えのき茸部会 （中野市）

昭和 39 年発足。「冷房栽培技術」の確立により、当初は冬の副業だったえのき茸の周年栽培が可能となり、県下各地にえのき茸栽培が普及した。

栽培ビン等の機器の開発、「培養センター方式」の導入、「液体種菌」の導入などにより、品質の向上と栽培期間の短縮を図るとともに飛躍的な規模拡大につなげ、日本一の産地としての地位を築いた。

また消費者ニーズに即した品種開発や、量販店への直接営業による新たな商品開発に取り組むとともに、えのき茸の持つ機能性と健康とのかかわりに着目し、医療機関や大学の協力を得て「えのき氷」を開発するなど、消費拡大にも取り組んだ。